

「第3次宇都宮市環境基本計画後期計画」(素案)に関する  
パブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和2年12月25日(金)～令和3年1月25日(月)

(2) 意見の応募の応募者数 2者(意見数16件)

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数	0	0	1	1	2

2 意見の対応状況

区分	内容	件数
A	意見の趣旨等を反映し、計画に盛り込むもの	9
B	意見の趣旨等は、計画に盛り込み済みと考えるもの	2
C	計画の参考とするもの	3
D	計画に盛り込まないもの	0
E	その他、要望・意見等	2
合計		16

3 意見の概要と市の考え方

(1) 計画の概要に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
1	「策定の趣旨」の項目において、社会変化を反映するため、以下の内容を追加するべきと考えます。 「国から2050年カーボンニュートラル宣言が出され、温室効果ガス削減の要求が強まっています。」	A	計画策定の背景として、国のカーボンニュートラル宣言は重要であることから、ご意見の内容を踏まえ、追加いたします。

## (2) 現状と課題に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
2	「新型コロナウイルス感染症への対応」において、政府が「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を公表したことから、もう少しポジティブな表現が良いと思う。	A	ご意見の内容を踏まえ、エネルギー関連投資が減少するおそれがある旨の記載を削除し、カーボンニュートラルに向けた投資機運の醸成について記載いたします。
3	下線部を追加し、明確化すべきです。「環境省によると、世帯人数の少ない世帯において、 <u>1人当たりのエネルギー</u> 使用量が多くなる。」	A	正確な表現とするため、下線部を追加いたします。

## (3) 環境都市の姿に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
4	21世紀半ばと2025年頃のまちのイメージがイラスト付きでわかりやすくなっているは大変素晴らしい。 ただし、国のカーボンニュートラルの目標は2050年であるため、2050年とした方がわかりやすいか。 2025年頃のイメージに近づくにはもっとかかるのではないか。次回の改定時には再検討していただくのが良い。	E	・本市が目指す21世紀半ばの環境都市の姿については、本計画期間を超えた将来の理想的なイメージを市民の皆さまに分かりやすく示したものであり、実現に向けた具体的な施策事業や目標年次等については、今後、検討してまいります。 ・2025年頃のイメージについては、21世紀半ばの環境都市の姿を見据え、本計画期間で実現を目指す姿を示したものであり、この実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって取り組んでまいります。

(4) 分野別の施策に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
5	<p>少なくとも次の3項目は、目標値をCO<sub>2</sub>にできないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電設備導入世帯数 ⇒ CO<sub>2</sub>削減量に換算</li> <li>・公共交通夜間人口カバー率 ⇒ 車からの乗換によるCO<sub>2</sub>削減量</li> <li>・ごみの発生抑制 ⇒ ごみ削減量をCO<sub>2</sub>削減量に換算</li> </ul>	C	<p>目標値は、CO<sub>2</sub>の削減に向けて達成すべき事業量としております。個々の事業量に応じたCO<sub>2</sub>削減量については、想定されるケースが多岐にわたるため、本市のCO<sub>2</sub>排出量の推移等を分析する際の参考として活用してまいります。</p>
6	<p>基本計画でどこまで具体的に記載できるかだが、下記事業は重要であるため、事業の内容を補足できないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料電池自動車の普及促進</li> <li>・再生可能エネルギーを活用した水素サプライチェーンの構築に向けた検討</li> <li>・電気自動車の普及促進</li> <li>・電気自動車等のカーシェアリングの導入検討</li> <li>・局地的な集中豪雨等への対応</li> <li>・熱中症対策の推進</li> </ul>	A	<p>重要な事業の内容については、コラムを設けて具体的なイメージ等の記載に努めておりますが、ご意見の内容を踏まえ、更に内容を充実してまいります。</p>
7	<p>災害の激甚化が懸念されているため、基本事業「市役所業務における温室効果ガス排出量の削減の推進」における下記の構成事業について、下線部の追加を提案する。</p> <p>「エネルギー利用設備に係る高効率化及び電源強靱化の推進」</p>	B	<p>災害時の備えも視野に入れた、市有施設における自立分散型エネルギーの導入については、基本事業「創エネ・蓄エネを活用した市有施設の低炭素化の推進」に含まれております。</p>
8	<p>国は、燃料電池を活用した省エネを推進していることから、施策「創エネルギー・蓄エネルギーの普及促進」の説明文に、下線部の追加を提案する。</p> <p>「家庭や市有施設などにおける太陽光発電システムや蓄電池、<u>コージェネレーションシステム</u>等の自立分散型エネルギーのさらなる普及を図ります。」</p>	A	<p>本市においては、家庭における燃料電池（エネファーム）の普及促進に向けた補助制度を実施していることから、ご意見の内容を踏まえ、コージェネレーションシステムについて追加いたします。</p>

9	<p>都市整備では、コージェネレーションによるエネルギーの合理的利用が重要と考えるため、以下を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策「環境負荷の少ない都市整備」の基本事業名に下線部を追加</li> <li>「<u>地域・街区等におけるコージェネレーションシステムによるエネルギーの合理的な利用の推進</u>」</li> <li>・構成事業「<u>コージェネ等を活用したエネルギーの効率的利用の促進</u>」の削除</li> </ul>	B	<p>エネルギーの合理的な利用はコージェネレーションシステムに限定されるものではないと考えております。</p> <p>そのため、コージェネレーションシステムも含めたエネルギーの合理的な利用を推進してまいります。</p>
---	--	---	---

(5) コラム等に関するもの

No.	意見の概要	区分	意見に対する市の考え方
10	<p>コラム「再生可能エネルギーの導入状況」のバイオマス発電の項で、クリークパーク茂原（7,500kw）とクリーンセンター下田原（3,500kw）のうちバイオマス約6割分は計上できるのではないのでしょうか。</p>	A	<p>クリーンセンター下田原及びクリーンパーク茂原における廃棄物発電のうちバイオマス発電について計上がされていなかったため、ご意見を踏まえて修正いたします。</p>
11	<p>コラム「持続可能な都市と私たちにできること」において、下線部を追加し、SDGsへの寄与を明確化するべきである。</p> <p>「この活動は宇都宮市が進めている」  <u>「SDGs未来都市」実現にもつながるものです。」</u></p>	A	<p>ご意見の内容を踏まえ、持続可能な都市に向けた活動とSDGsのつながりを明確化する内容を追加いたします。</p>
12	<p>地域新電力会社は、地域の再エネ利用をより促進するモデルケースとなり大変期待されます。地産地消をさらに推進するための重要な役割を担っており、準備状況を適宜発信し、市民のための会社として活動の幅を広げていって欲しい。</p>	E	<p>本市の地域新電力は単なる「エネルギー会社」とどまらず、地域課題の解決に貢献する「まちづくり会社」への発展を目指しております。</p> <p>今後も引き続き、地域新電力会社に関する情報発信に努めてまいります。</p>

13	<p>次世代自動車による温室効果ガスの削減効果において、二酸化炭素排出量でEVが420kg-CO<sub>2</sub>/年となっている前提を補足したほうが良いと思います。例えば「火力発電による二酸化炭素発生分が含まれる」とかの記述が必要。</p> <p>また、この表データは前提条件によるところが大きいと思いますので出典を記載したほうが良いと思います。</p>	A	<p>ご意見の内容を踏まえ、EVなどの二酸化炭素排出量の算定における前提条件を補足いたします。</p> <p>また、算定に用いたデータに係る出典について、あわせて記載いたします。</p>
14	<p>ふき出し「2.7t-CO<sub>2</sub>達成に向けてできること」において、家庭用燃料電池の普及は重要な施策と考えることから、下線部の追加を提案する。</p> <p>「LED照明や太陽光発電、蓄電池、<u>家庭用燃料電池(エネファーム)</u>などを導入しましょう。」</p>	A	<p>家庭における低炭素化の促進に向けて、具体的な取組を列挙している箇所であることから、ご意見の内容を踏まえ、追加いたします。</p>
15	<p>ふき出し「事業者が取り組むこと」において、コージェネレーションの推進として、下線部の追加を提案する。</p> <p>「<u>・コージェネレーションシステム等の省エネルギー性能の高い設備、機器や再生可能エネルギーなどを導入しましょう。</u></p> <p><u>・環境負荷の低い電気・天然ガスへのエネルギー転換を行いましょう。</u></p>	C	<p>「省エネルギー性能の高い設備、機器」という表現で趣旨を伝えることは可能と考えており、特定の機器を例示することは避け、コージェネレーションシステムを含めた省エネ設備等の導入促進に努めてまいります。</p> <p>また、環境負荷の低い電気・天然ガスへのエネルギー転換につきましては、本市の事業環境等を考慮しながら、検討させていただきます。</p>
16	<p>エネルギー転換が重要な施策であることから、コラム「第3次宇都宮市役所ストップ・ザ・温暖化プラン」において、以下の取組の追加を提案する。</p> <p>「環境負荷の低い電気・天然ガスへのエネルギー転換」</p>	C	<p>現在策定を進めている「第3次ストップ・ザ・温暖化プラン」において、「環境負荷の低減に配慮した物品・役務等の調達・使用」の施策を掲げる予定であることから、当該計画策定の中で更なる活用に向けて検討してまいります。</p>